1月28日 金曜日 27日夕刊
昭和30年西暦1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話代表 京橋(56)8646

（昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認第232号）
（中華民国郵政認為第二類新聞・内政内警証登報紙内台警字第0136号）

天気予報

今晩 北の風晴　明日 北の風晴

【概況】発達した低気圧が東シナ海に…揚子江下流の高気圧が…北陸や関東地方に張出したため北陸や関東に季節風が強い

日出	6.45
日入	5.03
月出	8.44
月入	9.31
満潮 前	7.55
満潮 後	7.55
干潮 前	1.35
干潮 後	2.00

（中潮）

悩みは同じ"人と金"
選挙に臨む各党の表情

弱い地盤に乱立（民主）
自由 候補者難の痛手

ある、しかしいざ選挙戦に突入してみると各党ともそれぞれの思惑はずれや悩みが出てきてその対策に苦慮していることも否めない、世評に乗った民主党では候補者の乱立と地盤の弱さに悩み、自由党は地盤の固さと人物本位の厳選主義を誇りながらも逆に候補者難と汚職の不評判にあえいでいる、また両社も統一政権をとなえながら現実には選挙協定や地盤協定に困難さを示しているようだ



上から川島正次郎、小沢佐重喜、三輪寿壮の各氏

民主党 民主党の選挙対策本部は旧改進党本部であった芝新桜田町にあるが、本部といっても党幹部は全く姿を見せていないのが不思議、が、これは"上げ潮"をねらって押しかける公認希望者のモミ手組をさけるため、岸幹事長や三木、松村の党三役はそれぞれ都内某所に陣取って候補者の選考に頭痛ハチ巻というところである

公認候補者の選考の悩みはなんといっても三党の寄合所帯であることで、実際の事務手続を一手に引受けている川島正次郎氏も四方八方からの公認攻めで乱立による共食いの傾向に頭を悩ましている、四十六支部の結成はやっと終ったものの福島、埼玉はまだ、このほか支部は結成したが公認候補の争奪戦で決定困難となっているのが大阪、京都、鹿児島、宮崎など十数地区におよんでおり、まだまだ組織と地盤が伸び悩んでいることは否めない

資金の点では、財界に大きな地歩を占めていた一万田、高碕の両相と資金工作の巧みな岸幹事長はじめ大麻、三木、河野の各相がひかえているのでビクともしないが、党の組織そのものがまだ底が浅いことは否定できず、地盤の弱さと候補者の乱立傾向をどうさばいてゆくかがこれからの悩みの種となるだろう

自由党 緒方総裁中心で総選挙態勢を盛りあげた自由党は大磯の吉田前首相が『断固再出馬をする』との一言があって党内の表情は さすがに複雑、小沢選挙対策本部事務局長は『百八十の現勢力維持は絶対だいじょうぶ、吉田さんの出馬？そんなことは大して選挙戦には差しさわりはないよ』と笑う、しかしこうした笑いのカゲにも何年ぶりかで野党となって戦う悩みの色は隠せないようだ

まず第一の痛手はなんといっても州数名の民主党クラ替えで、各所で候補者難に陥っていることだ、もっともひどいのは東京で、大半の区の有力候補者が民主党に移ったため自由党候補はほとんど全滅に近い、このほか汚職による痛手もかなりマイナスになることは否めないが、資金面では池田前幹事長の手堅く培ったルートが物をいってまあまあといったところ、また看板、カバンでは民主党に一歩をゆずるとしても地盤の固さはさすがで石井幹事長らもこの点をとくに強調し希望をつないでいる

"右"と"左"で噛み合い

両社党 『社会党政権樹立』を目ざす両社は重盛左社選対副委員長、三輪右社選対委員長の話によると、こんどの公認決定に当っては"厳選主義"で左社百廿六名、右社百卅二名にしぼっており、両社あわせて百八十名程度の当選はさして困難でないという、両社の悩みのタネは選挙協定で青森、大分、鹿児島および新潟、静岡の一部だけは話し合いがついたが北海道、群馬、埼玉、神奈川、長野、石川、兵庫、佐賀、熊本などではまだ調整されておらず、話し合いがつかなければ"二つの社会党"が激突せざるを得ない選挙区も相当数出てくるだろう

このほか両社にとって頭の痛いのは選挙資金だ、両社はこんどの選挙ではそれぞれ五千万円を目標に選挙資金を集めているが、現在半分ぐらいが集まった程度、もっとも両社幹部にいわせると『選挙公示前にこんなに金が集まったことははじめてだ』と…



安保理、来週開会
台湾停戦問題を討議

【ニューヨーク廿六日発ロイター＝共同】国連消息筋は廿六日"国連安保理事会はおそらく来週早々会議を開き、台湾地域の停戦問題を取上げることに なろう』と語った、理事会開会に関する手続上の規定によると緊急の場合を除き理事会開催の少くとも三日前までに議題を構成国に通告せねばならないので、開会要請は廿八日までに行われるものとみられる

【ロンドン廿六日発UP＝共同】ロンドンのある外国権威筋は廿六日『ニュージーランドは今週中おそらく廿九日に台湾停戦問題にかんする決議案を国連安保理事会に提出するだろう』と言明次のように述べた

インドは安保理事会会構成国と同様にこの決議案について協議にあずかっている、目下主要問題はどうすればこの決議案を中共が拒絶しにくいように書くことが出来るかという点にある、決議案上程の時期は米国の米華相互防衛条約批准がすんでからの方がよいと思われる、もし米上院が廿七日に批准すれば、決議案上程は廿八日になろう、中共はすでに決議案上程について通告を受けている、その他通告をうけた国はソ連、国府、ブラジル、コロンビア、デンマーク、レバノン、トルコである

米機哨戒開始

【台北廿六日発UP＝共同】米第七艦隊所属のジェット戦闘機および戦闘爆撃機約三百機は廿六日、台湾北方海域の哨戒任務についた これら第七艦隊の航空機は中共軍の侵略の危機にさらされている大陳島にいる約一万の国府軍と約二万の民間人の撤退を中共軍の干渉から守る任務を与えられているものである

上院も承認せん
米大統領の軍使用権 決議案審議を開始

【ワシントン廿六日発AP＝共同】アイゼンハワー米大統領に台湾防衛のため米軍使用の権限を与える決議案は廿六日上院外交軍事合同委で廿七対二で可決され、上院本会議で非公式討議が開始された、公式の討議開始は廿七日の予定であるが、それ以前でも討議を始めてよく、また修正案を出してもよいことになっている、同様の決議案はさきに下院でほぼ全員一致で一気に可決されているが、これにくらべ上院では反対論が強硬に出ている、しかし少なくとも目下のところでは反対論は決議案の内容を変えるほどの強さではないようである





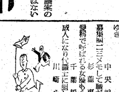
おいろけシスターズ

待たれるヌードの彗星

○…イチ二とサン四、二ィ二とサン四、サン二とサン四…深夜から暁にかけてレッスンのカケ声が不眠の浅草六区にひびく―やがてこの不断のカケ声が初春のやわらかい陽ざしとともに、押しよせる人波にかき消されるころ『本日初日』のストリップショウが開幕される、この徹夜稽古の余暇をみては録音機を前にマラカスを振り、ボンゴを、ギローをたゝき、合唱の練習もする若鮎のようなグループがある"カジノ おいろけ シスターズ"がそれ、彼女達は録音された自分たちの声をさらに聞きかえして批判し合い、また指導もうける、芝居のセリフもこれを…

でなくて、踊って、歌って、そして芝居もやりたい―これが彼女達の素朴な願いでもあるのだ ○…『私はおいろけシスターズという難題がある、この"おいろけシスターズ"の産経代も一誕生以来かかさず観ているファンです、このシスターズが浅草座でウブ声をあげ、ここカジノ座に移って五年近くなるでしょうか…

…ドの彗星は現われなかった、ストリッパーの新人はズブの素人から養成しなければならない―"ダンボー"とマミー美智も専売公社の女工員から、デオ・ラ・リーはヌード・モデルからそれぞれ舞台に立った、踊りの柏子もとれなかった彼女たちも旺盛な研究心と不断のレッスン…



粋人酔筆

彼女の貞操



今をさる十年前。今次大戦の末期、工業学校出の若者は猫も杓子も引張り凧であった。ある男、機械に明るいところから川崎の軍需工場に働いていた。

丁度その頃、女学校という女学校は授業なんかろくすっぽやらず、勤労奉仕隊として、朝から晩まで慰問品の発送に大童だったが、別の一隊は工場に出張、その職場で女がやれることなら何んでもやった。その長い行列が川崎の軍需工場へも毎日、紺のセーラー服の胸に名札をぶらさげては、繰り込んでいった。

B29の爆音がとどろき、日本の飛行機は一機も見えない空の下を、危険な職場へ急ぐ花の蕾の姿は、映画"ひめゆりの塔"の一シーンと変らない悲壮なものであった。

こうした無気味などす黒い圧迫感に息詰る空気の中でも、人生の恋は実る。ある男は、その女学生中のある一人と恋に落ちた。

鈴蘭の花は、最初風の中に震えていたが、やがて口紅のない唇を、男の充血した唇で濡らされるようになった。それはやがて搗きたての大福のようにキメの細かなモッチャリした乳房を、男の絡むままに投げ出すようになり、続いて大空襲のあった修羅場で、工場裏の丘に続く横穴から濛々と立ち昇る破壊の焦煙をうつつ見ながら、彼女はその男のなすがままに委せていた。

『ねえ、死んでも二人は一緒だよ。忘れないでおくれよ。今貴女に与えているこの激しいくちづけは、天に向って二人の幸福を願う命のくちづけさ…今貴女をしっかりと抱いている両の腕、可愛い貴女の指に櫛のように食い込んでいるこの十本の指、みな貴女のものさ…これなら死んでも天国に行けるからね』と

彼は情熱をこめて囁いた。

彼女は機械油に染まった逞しい彼の太い拇指を、人指指を、爪のまくれ上った中指を、その時ジーッと見つめていたが、その一本一本に花瓣のような唇を押し当て、そして夢みる心地でそれに頬ずりするのだった。

その後再度の爆撃にあって、その軍需工場は丸焼け、男の家も木ッ葉…になってしまった。…

昭和廿年八月、終戦の詔勅…

峰岸義一





凄じきアベック運転
潰滅に瀕したドライヴ・クラブ

人なし金なし車なし
苦肉の超サービスも仇

[illegible]



[illegible]今は旅行シーズンではないた[illegible]加入者が全くないという始末[illegible]る、従って会員が増えなければ[illegible]車を買うどころか手持車の修[illegible]

無茶な"キッス走法"
シートも裂く猛烈さ

○…何故車がこんなに早く破損するのか？その原因だが"S"クラブを例にとってみると―ここでは利用者が学生、サラリーマン、商人、外人など職業は種々雑多であるが女を同伴した若いサラリーマンが鎌倉へドライブしたときのこと―この車が小さな坂にさしかかったところ、突然前方にトラックがあらわれたので慌ててブレーキをかけた[illegible]

[illegible]性能のすぐれた車でもひとたまりもない訳だ、とはいえ自分で運転してアベックでどこへでも行けるという"車の魅力"は捨てがたい

どんな堅牢車もだめ
音をあげた経営者

[illegible]ものらしく、一度会員になったら故障するまで乗り回すというのがクラブの会員の習性で、それが、『どうせ"借物"だ』という観念があるせいか、あるいは会費を払えば"人のものは俺のもの"と思うのか、手荒く車を扱うらしい。決してスピードを出さず、まるで生き物を扱うように運転する外人―特にアメリカ人―とは対象的である』と港区浜松町Pクラブ支配人斎藤正仁氏はこぼしている、いずれにしても『このように乱暴に車を使用する結果、ルノーやフォルクスワーゲンなどの優秀で堅牢な外車をもってしてもクラブの現状維持はむずかしい』らしく最近では車に保険をかけたり、修理工場をクラブ内に設けたりしてその打開策に当っているが、これから五六年は赤字を覚悟している、しかし今の日本の生活水準では…』というのがクラブ経営者の見とおしである

多く車の使用は乱暴である、しかし、なかには二年越しの恋愛を続けながら一度もその関係を結ばなかったのが、ドライブしたお蔭で一度でその目的をとげて結婚を早めたというのも多く、クラブこそよい面の皮である、かれらの乱暴さだが、ときにはクッションのシートまで引裂かれているなど目も当てられぬ（Pの例）そうである

豆知識

[illegible]プ三分の二の冷水を入れたものを作り、昨日の肉をその中に四時間浸しておく、つぎに三五〇匁の馬鈴薯、普通の大きさの玉葱二個、乾しトウガラシ、何か香りの高い葉一枚、醤油茶匙一杯及び五十匁の塩漬け豚の脂肉を用意する、豚肉の代りにバターを使ってもよい、豚肉の時は前日に三時間水に浸し卅分間よく火を通しておく、さて料理だが、まず鯨肉を鍋で狐色にし、大きく切った玉葱を加え、五分してその上に肉が隠れるまで熱湯を注ぐ、半時間して大きく切った馬鈴薯を鍋に入れ、ついで葱と醤油を加える、更にバターを上にかけ、三、四十分間肉が煮えるまでトロ火にかける、そしてたべる前に、スプーンで馬鈴薯をつぶし、好みの塩及びペッパーまたはトウガラシをかけるのである

モダン歳人記
男色の殺人

大阪難波新地の貸座敷東菊水の養子に新派の女形俳優花柳美という男がいた。本名を森次久一（三）といい、昭和初年の映画スター梅村蓉子に似た楚々たる女形振りだった。これがよくある受動的な男色者で、国際都市神戸のドイツ人貿易商に囲われていた。外人に同性愛の多いことは戦後の駐留軍の行動やキンゼイ報告でも判るが、そのころにも日比谷公園で美少年を追っかけて刑事に捕った音楽学校のドイツ人教師などもあって珍しくなかったらしい。

ドイツ人に可愛がられながら久一は別に松本竹蔵（三）という男と関係を結び、この竹蔵に情死を迫られたのである。昭和三年一月廿八日朝七時、執拗な竹蔵の手を免れようと彼は手斧で竹蔵を殺害し、その首を鋸で斬って持ち回って逃げた、竹蔵の首無し屍体事件はそれから五年目の昭和八年九月に久一が三宮神社境内のおでん屋に首入りの行李を預けて発覚するまで犯人も犯罪の内容も判らないで過ぎたのである。これで久一は大和川堤防のルンペン小屋で逮捕されたが、同性愛の殺人は戦後ばかりでなく、昔もときどき社会の裏面にはあったのである。（鮭）



巣
7・新劇人



おしるこに大衆の味
ホロ苦い抹茶は悩みの錯綜

○…時代の先端を行くということは、つまり、奇を好むということになる、しかしながら…である新劇人がおしるこをすすり、抹茶を飲んだところで、これは何も"奇を好んだ"というに当らない、舞台で翻訳調のセリフをしゃべり、イデオロギーで凝り固まったような演技を用いたとしても、それはあくまでも俳優としての"立場"であって、彼と彼女らがおしるこをすゝる不思議さにつながりはないはずである、たゞいえるのはおしるこの庶民性、抹茶のホロ苦いわびが新劇にも通ずるものがあるということだけだ

○…新橋"A屋"を新劇人が巣にしているのは、そんな単純な理由からであるいや、もともと理由なんかないのかも知れない、『金がないし、店の雰囲気が落着けて…たゞそれだけのことさ』と若い人は語った『女村長アンナ』のセリフを頭のなかに詰め込んで、コーヒーを飲んだのでは余りに現実的過ぎる、おしるこの古い味わいのなかから、新しいものを生み出すために考え、語り合うことの方が、より革新の理想にかなっているというわけか、『そうなんだよ、ね、大衆の生活は古いカラに閉じこめられている、いくらボクたちが舞台の上から新しい風を送ったところで、それはそれだけの話さ、ボクたちはもッともッと大衆を知る必要があると思うことだよ、ね』

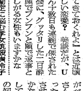
○…彼はおしるこの豆粒を箸の先きで一つ一つつぶしながら、彼女は、勇敢におモチにかぶりつきながら『そうじゃないのよ、大衆を理解することの前に、私たち新劇のあり方を大衆にとけ込ませることの方が先決問題なのよ、ひとりよがりな観念では、新劇は伸びないと思うのよ』

どうも、おしるこの味のほどほどはそっちのけで、やはり話の内容も甘くない、新劇の道のけわしさは、蟻が千里の道を行くのに似ているようだ

○…ところで、はっきりいって近ごろの新劇人は変った、アカじみたルパシカにベレー帽、そんな格好がかつての新劇人の代表的スタイルであった、いまでは女はアストラカンの豪華なオーバー、男は映画人好みのリュウとした背広で、映画会社の高級車を乗り回す…といえば判るように、映画出演が彼らの生活環境を大きく変化させた、これではイケナイのでアル…と野暮なことはいわない、それはそれで結構新劇の発展にもプラスしているからである、しかし"おしるこ"で何かを考え、突きつめようとするところに、彼らには彼らの、新劇には新劇の悩みが深い、古さと新しさの錯綜…抹茶の味もまた、たゞホロ苦いのではない（H）

【写真は次の舞台の打合せでもしているのか、脚本片手に火野明（右）と津村悠子―新橋のA屋にて】

瓦版



好サービス、文学ラーメン・パン

○…さいきん三河島宮地ロータリーを中心に、夜八時ごろから十時過ぎまで、あの辺に屋台を出している夜泣きソバ屋に現われる廿五、六、眼鏡を掛けたチョイ・イケの小柄美人、これはと思う殿方がいると横でラーメンをチューチューやってからいとも気易く話しかけてくる、男心の浅間しさで、つい引きずられて夜の散歩としゃれると、彼女トートーと文学論を一席ぶった揚句『妾、ニヒリストなの或いはアナキストかもしれないわ』とムツカシイことを仰っしゃってから『どう、寂しい同士で語りあかしません?』と根岸の御行の松辺りの二階家へ裏口から誘いこむ、なんのことはない文学的パン嬢だが、五枚か六枚でオール・ナイト朝食付き、状況によっては日暮里駅まで送ってくれるが、お相手は廿代、卅代の男性に限るらしいと経験者の某雑誌社員J氏が話していた

涙話版、女給恋愛道達人の帰国

○…銀座七のキャバレー"A"のナンバー・ワン女性？U子さんが廿六日、横浜港から郷里の沖縄へ廿年ぶりで帰国したがこのU子さん物凄い恋愛遍の達人で、お相手をした男性たちが何と廿数人、横浜桟橋まで見送った上、その中の二人は神戸まで付添っていくという熱のあげ方―だが、彼女は一見たいした美人ではなく齢も卅を二つ越した姥桜、一体どこが良くて男性たちが引寄せられるのか不思議？きっとアノ方が素ンバラシくイイんだろうと噂とりどりだが、神戸まで付いていくという某中小会社々長氏、老いの目に涙しばたゝいて『きっと早く帰ってきておくれよ』とは近頃珍らしい恋愛？美談だが、U子さん十数日も連続で催された送別会に、グッタリした二日酔いの顔でフンフンと顔で返事とは嬉しがる女性もいますかな

月賦勘定に悩む孝女筑波嶺伶子

○…宝塚からジャズに転向した筑波嶺伶子がママと経営しているバーが新宿駅南口、ごみごみした"ニコニコ横丁"の奥にある、このバー、周囲の雰囲気からまるっきり孤立した、シックで落着ける店、部屋中に世界各国の音楽人のポートレートがべたべた貼ってあるが『ママさん、妾がジャズ界の花形になったら銀座へ進出して左ウチワさせてあげるわ』と、伶子嬢なかなか親孝行の純情ぶりを発揮しているので、放送、音楽関係の知人たち『大いに飲んでやらなくちゃ』とばかり通いつめていたが、金が続かなくてみんなツケばかり、それも三ヵ月、四ヵ月の月賦？とは酔っぱらい心理はいずこも同じもんです

あすの運勢　（三）高島象山
＝一月廿八日＝

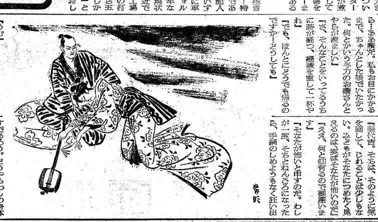
▲一月生―名実共に高潮して人気と信用を得る日積極的に活動よし
▲二月生―物事停滞して落胆を招き失望起り易い目下に心配起る也
▲三月生―気運逆転して困難起り災厄を蒙り苦労起る異動は控えよ
▲四月生―幸運到来し思う事叶い目的達す全力をあげて活動して吉
▲五月生―上下の和を缺き或は他人の反感を蒙り進退に窮するあり
▲六月生―物事に無理を承知で押し切らんとして失敗あり控目よし
▲七月生―元気よく活動し他意なく一貫して目的に向へば栄達あり
▲八月生―内外共に悩み起り不平不満多きも辛抱すれば無事に至る
▲九月生―私心私欲を捨て瞬挙盲動を慎めば平和なり異動変化災有
▲十月生―大勢に順應して進めば人気あがり利達あり上位の引立有
▲十一月生―苦労は解けて光明なる気運は来る静かに活動して無事
▲十二月生―環境の既旧や他人からんしようで迷惑損を蒙ることあり

カルタ学校が開校

平和十年目の正月を迎えて、さいきん小倉百人一首カルタを習いたいという若い人たちが増えているので、都内最大のカルタ団体の『白妙会』では、来る二月二日夜六時半から毎週水曜、男女初心者を対象にした『カルタ学校』を文京区大塚仲町四一文華洋裁学校六広間で開校する、実地指導の講師は伊藤同会会長はじめ正木新名人、鈴木准名人、内田八段、進七段等の名選手、授業料不要

浪人街道　（50）
木村荘十　野口昂明画

黒幕（七）



『美代吉、そちは船の中でも、あればどういうたのに、まだ分らぬのか』

『殿様』

『殿様はよせ』

『殿様はどうせ私のいうことは、なんでもお気に入らないのですから…ああ嫌だ。私もお目にかかるまで、ちゃんとした娘でいたかった。何とかいう与力のお嬢さんとやらが羨ましい』

『さ、そんなことをいってるうちに時が経つ、機嫌を直して一杯やれ』

『でも、ほんとにどうでも帰るのですか…どうしても』

『うむ』

『美代吉が死んでも』

『またそんなわからんことをいいだす』

『何もかもお分りのくせに、にくらしい。そんなに私がいやなのかしら…』

『いやではないというに』

『あら、また、風向きが変ってきた』

美代吉は、三味線をとって、すねたように、そッぽを向いてうたった。

へわが恋は…
あら砥にかけし　剃刀の
あいもしなけりゃ　切れもせず
蛇じゃないぞえ　生殺し

啓之助は、南天の床柱によりかかって聴いていたが、『う、ふふふ』と笑った。

『う、ふふふじゃありませんよ。人の気も知らないで…私はね…あらお帰りで御座いますか、またどうぞッていいたいんですよ』

『いったらいいだろう。何も遠慮することはあるまい』

『ええ、この三味線、折ッぺしょッちゃおうか知ら…』

と三味線を振りあげた。

『これ、つまらぬことを…』

横から抱くように押えるのに、美代吉は眼をつぶって、

『ああじれったい』と身を悶えた。

啓之助は静かに三味線をとりあげていった。

『美代吉。そちは、そのように気を回して、じれることは少しもない。みどもがそなたにつめたく見えるのは、実はそなたが怖いのだ』

『ええ、何と仰有るので御座います』

『そなたが怖いと申すのだ。わしが一度、そちとねんごろになったら、手綱のしめようもなく狂い出すであろう。どうやらわしの身体には悪い血潮が流れておるようだ

わしは、そなたに会ってから、屋敷暮しの味気なさが身にしみじみと思われるようになった…わしはそれが怖い。それにそなたの酌で飲む酒のうまさ。それも怖いし、料理茶屋の気楽さも怖し』

『なんでこんなことが怖いので御座いましょう。五人十人を数ともせず振いつきたいような冴えた腕前、その殿様が怖いなどとは』

『武家暮しには毒なものばかり。腕を磨くにはこの上のない大毒』

『またしてもそのような』

『美代吉、これは戯れごとではない。今のご政治向の評判はそなたもよく存じておろう。世は太平に見ゆるものの、底には渦が巻いている。今宵にしても、徒党を組んでのあの襲撃、何のためかは、わしには分らんが、あの後ろには何か大物がいる。何かを企む黒幕がな。わしはそれと闘わねばならぬ。分ってくれ、情事に耽ける時ではないのだ』

風流世界譚　…（日本）…

独身サラリーマンの安吉君はアパートとは名のみ、ベニヤ板で仕切った狭い小部屋を借りていました。ところが毎夜、隣室の外交員飛田さんご夫婦の猛烈な痴話喧嘩で睡眠を妨げられるのです。御亭主が職業柄家を留守にすることが多いのですが、その間にもお色気たっぷりな飛田夫人はしばしば『鬼の居ぬ間の洗濯』までして若い安吉君を悩ましました。飛田さんが一週間ほど出張旅行した時などは、連日連夜で、それも声音で判断すると、入れかわり立ちかわり、違う男を相手にしている様子で、いささか安吉君も義憤を感じたくらいです。さて、今夜の夫婦喧嘩たるや、いつもの機関銃的口論とは違い、まさに原爆的大騒動、まごまごしていると部屋の境のベニヤ板まで破られそうなので、我慢しかねた安吉君は飛び出していって仲裁に入りました。すると顔を真ッ赤にしていきり立った飛田さんは『止めないで下さい。このアマめ、亭主のいないのをいいことによその男と密通しやがったんです』すると安吉君『いや、ボクにわかったのだけでも三つ（密通）や四つじゃありません！』

アベックの茶の間
神田と渋谷にあるPクラブ

二人だけで、ゆっくり愉しめるクラブが神田今川橋際と渋谷東映前にあるクラブ『パール』がそれ。スタンダールの赤と黒の波にのって最近服飾の世界にも赤と黒のデザインが流行っているが、パールの赤の絨毯と黒のカーテンの配合が端緒[illegible]このクラブは一人五百円のルームチャージ制になっており[illegible]を知らないと損をする。つまり五百円でビール二本かカクテール二杯のめる勘定になっている。アベックの茶の間として、利用者の多いのも東京一のようだ（Y）

デリカシー溢れる店
八重洲通　味の素向　「メイワ」喫茶店

京橋、八重洲通りを右におれた昭和通りの味の素ビル斜め向いにできたコーヒーパーラー『メイワ』は"ドルップ"仕立てでコクがあって香りが高いのが評判で、付近のサラリーマンやガールズが仕事の合い間、憩いのひとときを求めてホレて通う粋のいれかたをみせている。筆者もそのひとり―ことにいいアトモスフエアをかもしているのは、正面突当り、ノルマンジー風のチーク材の格子の欄間のおとぎ話にあるような美しい鳥籠にさえずるカナリヤのスナップショット、そして『バルムの僧院』の門を行くようなトイレまでの一つのコーナーだ

一体この店『メイワ』はスコットランド風なのかイングランド風なのか、正体のしれないスタイルだが、その一風かわったところがマニアをひきつけているらしい。

それにこの店、ケーキとパンで有名な『明和製菓』の直営店だけにサンドイッチもケーキもデリカシの味で常連をよろこばしている。なお卅一日までをサービスウイークとして明和製菓特製のケーキをコーヒーに無料で添付しているが引続き二月一日から五日まで毎日先着百名の人に日清製粉提供の高級小麦粉『カメリヤ』でつくった自慢の食パンを一本ずつ進呈することになっている。

銀座令嬢という名のサロン



◆東銀座の東京温泉というところいつの間にか新東京名所のひとつになってしまった。何だかんだいわれても、実用の便利さと、適度の色気とが物をいったらしい。

◆この温泉の前に昔のカラクリのような『のぞき穴』がある何だろうとのぞいてみると温泉ブ体を洗っている女体がみえてギョッとする。が実はこれ色彩写真で立体感があるのがミソだ。

◆その東京温泉の二階に二月一日から『銀座令嬢』が出現する。といってもイヤラシイ目つきをしてはいけないそういう名のサロンが開店するのである。時世がおちつくとトラッオオカミカンカン娘でなく令嬢出現となることかくの通りというわけだ。

◆このサロン、流行のアルサロや未亡人サロンではない。いうなれば戦前のバーの復活である。バーというのは大体小便クサイ乙女のいるところではない、話術も態度も洗練された女給のはたらく酒場のことだ。そういうしゃれたバーの復活がねらいだという。

◆『銀座令嬢』は貸売をしない。貸倒れにならぬ分を安値でカバしてくれるという。ビール二〇〇円ツマミ物一〇〇円、チップ三割りと割りきったのもバーの本道だそうだ。

社交界ゴシップ

◆節分パーティーの豪華版　王子駅前のキャバレー・ドリームランドでは二月三、四日の節分パーテーのプレゼントとして入場者に抽せん券やお土産をつけるが、ショーはスト嬢数名による豆まきショーが見もの。これで入場料は百円、同伴は二人百五十円、というから安い・支配人名主の滝と情緒の溢れているように、このキャバレーも写真でおわかりの通り美しく上品な、お嬢さんが溢れる微笑で待っている。王子は花の名所でもあり、音無川





【写真は上から三津田さん、和子さんの売れっ子ダンサー】

当選作品
裕源泰温泉御招待懸賞（四）

佳作　板橋区　佐野繁三郎
☆こんな美酒があったのか！ところは新橋　永楽餐室　共に愉しく酌み交す　彼女と僕の桃源境

佳作　新宿区　三田　博
☆幾夜通ひつ　酒の星　夜空に仰ぎ　養老の　古事偲びつゝ　掬む酒は　天に恥ざる　名酒なり

佳作　日立市　北見　康徳
☆天は愛す紹興の美酒　バッカスは陶然として　中空に舞る　人は愛す玫瑰の芳淳　新橋の畔に酒泉あり　淑女もほろ酔ふ永楽餐室　酒神は微醺エデンを夢む



57

氷上の祭典幕開く

【諏訪発】第十回国体スケート大会はきょう廿七日午後五時半から長野県諏訪市手長丘グラウンドの開会式で四日間にわたる〝氷上祭典〟の幕をあげる、午後五時、役員と選手が諏訪湖畔公園に集合、北海道を先頭に十八都道府県代表一千二百余名がグラウンドに向って行進、定刻ファンファレーを合図に荘厳な開会式を行う

なお大会場の諏ノ海リンクは廿六日朝約卅糎の積雪があり、付近の青年団、消防団員がかけつけて懸命な除雪作業を行っているので、レース開始の廿八日までには上々のコンディションになるみこみ、選手も廿七日午前中に全部到着した


大会を待つ諏ノ海国体スケート会場の除雪作業

ポン中夫婦青酸心中
泣き叫ぶ坊や二人置いて

廿七日朝六時半ごろ台東区浅草日本堤一の八金井アパート＝責任者金井信正さん＝の二階三畳の自室で元運転手平井義一さん(三)と妻そのさん(三)が青酸カリ自殺をした、長男小太郎ちゃん(七)と長女千代ちゃん(四)が泣き叫んだので隣室の山本つや子さん(三)が発見浅草署に届出た、夫婦とも一年ほど前からヒロポン中毒になり勤先の同区千束町二の四六三ミツワ交通をクビになり部屋代も払えず、生活苦から心中したものらしい

若い男、電車へ飛込む

六廿日夜九時四十三分ごろ台東区上根岸一〇九先で上り常磐線電車に若い男が飛込み即死した、持っていた手紙から茨城県結城郡西豊岡村高野章さん(三)と判った、元八王子のパチンコ屋に勤めていたが、最近失職し生活苦かららしい

夜帰り女給さん襲わる

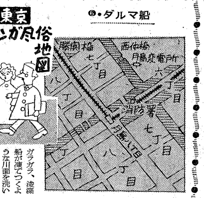
廿七日午前零時廿分ごろ大田区久ケ原五三三先路上で同町四二三女給高橋幸子さん(三)は帰宅途中工員風廿四、五歳、黒オーバーの男にジャックナイフで脅かされ、現金二千五百円入りのショルダーバッグを奪われたと池上署に届出た

湯島に朝強盗

廿七日午前五時半ごろ文京区湯島天神町一の一四割烹料理屋『よしざわ』経営者吉沢与志子さん(四)方に出刃包丁をもった四十四、五歳カーキ色作業服に水色風呂敷で覆面した賊が侵入、吉沢さんに包丁をつきつけて脅迫、現金三千円を強奪逃走したと本富士署に届出た

大内山、大関昇進見送り

相撲協会番付編成会議は廿七日午前十時から蔵前の協会役員室で開かれ初場所の成績による前力士の昇降を決めた（発表は三月一日）その席上で今場所十一勝四敗の成績をあげた大内山を大関に推薦するという話がでたが勝星の内容を検討した結果時期尚早と見送ることになった



ダルマ船とはいみじくもつけた名前である。こう嘆息したのは誰あろうダルマ嬢だ。勝鬨橋を渡ると東京湾の匂いがプーンと鼻をつく。ゴトンゴトン、ガラガラ、浚渫船が凍てつくような川面を洗い二、三十トンのダルマ船、伝馬船がうようよしている。その間を泳ぐのが彼女ら—オカパンではも競争が激しく食えないところから、仕方がなくて〽月島に流れ、文字通りダルマパンとして出没しているわけだ。春凍嬢だなんてウマイ呼称をつけている船頭もある。

冷えた船底オツな味
オカパン轉じて〝春濮嬢〟

オカでみていると船はやんわり適当に揺れるのでアウンの呼吸？は不必要だというご仁があるかも知れないが、



『春濮嬢の御間は嬉しいのだが、遠く銀座の灯を眺めながら三畳の船底でキンタマ火鉢をしている図を想像してくれ、決して楽しいものじゃあない。そんなことからヤケクソになりチュウで俺たちの自由にはならねえ、んで糧秣本しょうに納めるやつを、終戦だというんで海へ投げ捨てたのが出てきたんだ。あれには驚いたなア、近ごろはスクラップも出ねえ、出たところで俺たちの自由にはならねえ、

この闇女の土左衛門が引っかゝったな。いや、婆さんだよ。当節の娘は川に身を投げるなんて殊勝（？）なのはいないよ』

夕闇がこくなって、風がイヤに冷えてきた。船頭はニタリッと笑いながら…

『ボツボツ春濮嬢が現れる時刻だ、不景気なんだな。めっきりオカパンが転向してきたぜ。こちとら水の上の冷えたキンタマ火鉢をアテにするようじゃ世も末じゃよ…』

ワッハッハー虚な笑いが夜のとばりを下した川面を伝わって流れていった。」

それは素人筋の勝手な考えかた、船底の薄暗く冷いところでの楽しみはやっぱり板子一枚下は地獄よの切っぱつまったものが、どこかに感じられるとのことだ。その船頭の話を録音してみよう。

ももおり、用のない時は早寝だ、月給が一万三千円也さ…それでも終戦直後にはオモシロイことがあったよ。越中島の沖をさらっていると、金のノベ棒が廿何本でた。当時南方から金塊を積

えと文　森比呂志

対ペレス、白井のリターンマッチ
ギャラ20万ドル
カ氏の計画　四月桑港で

【サンフランシスコ廿六日発AP＝共同】サンフランシスコのボクシング・プロモーター、ウィリアム・カイン氏は世界フライ級チャンピオン、パスカル・ペレス(亜)と前チャンピオン白井義男とのリターン・マッチを四月中旬サンフランシスコで行う計画をもっていると廿六日発表した、カイン氏の考えている条件はギャラ廿万ドル、それにテレビ、ラジオ収入の六十五％をペレス、白井の間でわけ、それ以外は慈善事業に寄付するというのである

三河島の火事

廿七日午前五時五十分頃荒川区三河島六の一七三洋家具製造業神津今朝造さん(四)方から出火、木造二階建工場一棟卅五坪、住宅二棟など六十坪を全焼、原因は荒川署で調べ中

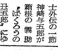
子供の火遊びから

廿七日朝九時ごろ練馬区谷原町一の二六九農業田中鉄五郎さん(七)方物置から出火、同物置平家十三坪を全焼、子供の火いたずらから

谷中で建具屋

廿七日午前三時ごろ台東区谷中三崎町四七建具商松本七造さん方から出火、作業場三坪半を焼いた

独眼灯



○…赤穂義士外伝の一節神崎与五郎が箱根の雲助〝ばくろうの丑五郎〟にゆすられて謝ったときの〝ワビ証文〟を家宝にしているお百姓さんがいる、もっともこの証文によるとあやまったのは神崎与五郎ではなくて同じ四十七士の大高源吾、雲助の名も国蔵というのが正しい

○…持主は静岡県三島市外清水村の豪農久保田隆作さん(六)で三島の宿の〝御本陣〟をつとめていた世古という旧家に代々伝えられていたものを廿数年前に大枚千五百円也で買い取ったのだという

○…半紙より一まわり大きい懐紙に『元禄十四年巳九月、大高源吾』と墨コンあざやか…、久保田さんは『ホンモノだということは鑑定ずみ、めったな人に見せられる品ではありません…』と大へんなご自慢ぶり

そこで田口は川奈と交替で阿佐ヶ谷郵便局に張込んだ、そして さる十日受取りにきた村川を捕えて脅迫、泥をはかせたところ村川は総て自分一人の計画で家庭が貧しい上失職中で遊興費に困って考えだしたと自白した



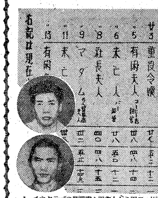
街を流す空ッ風

○…とけて流れたきのうの淡雪にかわってきょう廿七日は日本晴れの上天気だが、低気圧が本州東方に去り大陸の高気圧が張り出してきたため東京地方は北寄りの季節風が強くなった、最大風速は陸上で十㍍、海上で十三、四㍍に達する、この風も今晩は弱まる見込だが、空気も乾燥してきたので強風注意報と火災注意報が出ている

○…〽風の中の羽のように…リゴレットの歌の文句じゃないが、街頭に渦巻くつむじ風が新聞紙やビラを巻上げたり、着物の裾にもぐり込んであられもないふくらはぎを露出させたり—銀座の街角を行く人たちは北風の小父さんのいたずらに閉口して前こごみになって歩いていた【写真は銀座にて】

狐と狸アプレ版
インチキ・クラブとゆすり興信所
架空の有閑女性に釣られた四百名
からくり見抜いて虚々實々の泥試合

ついこの間詐欺で逮捕された日本勧業殖産の永原仲が一億八千万円の資金の大半を三行広告で集めたように三行広告詐欺が話題になっている折から、こんどは逆にアプレ青年が架空の有閑マダム・グループをデッチ上げて広告したのに目をつけ、これを調べ上げて恐喝を働いていたチンピラ興信所長が三鷹署に捕った、しかもそのチンピラ興信所長は金をしぼりとれないとみるやその資料を本社に売込みにくるなどあまりに無軌道のアプレぶりに係官も唖然としている


インチキクラブの履歴書と円内上から田口、川奈

この〝恐喝青年〟は板橋区板橋五の五三三五中央探偵社々長田口嘉康(三)と豊島区池袋一の六五五同社員川奈良弘(三)の両名、〝詐欺青年〟の方は三鷹市下連雀一六〇無職村川知由(三)といういずれも典型的なアプレ青年、ことの起りは村川が千葉とし江という女名前で『若い男性を求む、当方理解ある女性、援助したし』という三行広告を出したところに始る、これに目をつけたのがチンピラ興信所長の田口で良きかもござんなれと応募、〝オトリ調査〟に乗出した、儲け仕事もなく好色の田口は『これを探し出せば儲けのタネになる、もし事実であったとしたらみつけものだ』と阿佐ヶ谷郵便局止で手紙を出した

すると『中央線沿線に住む婦人達で組織する武蔵野女性クラブの責任者』と称する千葉とし江なる女性から『重役令嬢、廿七歳、五尺二寸、十二貫、援助金一…

…折返し更にくわしい一覧表をそえて申込金百円と会費（毎月五百円）計六百円と身許証明送れという話、田口はこれをみて『しめた』と思った、なるほど素人には信用させるように厳重な警戒ぶりを示し『今まで同種のインチキに憤慨した夫人連で作った秘密クラブだ』『写真を送れ』とか『身許証明を送れ』というが、援助できる夫人の集りなのに会費をとったり『先様と連絡する関係上返事が遅れます』と念を押しているのは、騙った金を握ったらドロンを決めこむのではないか

色と欲のオトリ調査
本社へ売込みに来る心ぞうぶり

[illegible]

オトリ調査とは

[illegible]

ひどい会社の態度
一方的に退職を宣告された人妻

[illegible]

読者ポスト

[illegible]

…見』ということを左右にした挙句『五千円以下では売れない』というので不審の念を抱き断ったところ、再び村川に『損害を弁償しろ』と脅迫した、村川はあわてて三鷹署に駆込んだが、取調べの係官は両者の典型的なアプレぶりと醜い泥試合ぶりにあきれはてている

…険は都庁所管のものですが、常時五人以上使用する事業主は健保に強制加入しなくてはならない規則で、違反があればびしく取締ります、自身で当署第三課まで相談にて来下さい」

川崎競輪最終日成績　◇第一B千二①穐田義1分47秒7②鈴木庫4身③太田泰（単）180円（複）130円200円240円（連）⑤—①1870円　◇第二B千六①長田昭2分22秒5②春田興1身¾③稲垣正（単）210…

松戸競輪初日成績　◇第一B千①吉野省1分28秒3②和久井⅛身③大野隆（単）130円（複）160円無投票390円（連）②—⑤1470円　◇第二B千①吉田茂1分27秒2②木村労½身③山本響（単）230円（複）100円100円100円（連）④—②330円　◇第三A二千①高橋満2分49秒2②新家子¾身③橘俊一（単）160円（複）110円210円110円（連）④—②1710円　◇第四A千六①田中勉2分26秒5②平島末2身¾③古田明（単）770円（複）210円470円320円（連）③—⑤3760円　◇第三A千六（山下欠場）①清水2分25秒8②常田哲（単）480円（複）170円、280円（連）③—⑤1490円　…円（複）110円130円120円（連）③—⑤650円

あすのスポーツ　△スケート國体冬季大會（諏ノ海）△競馬大井

川口オート　第一回川口オートレース第二節は廿八日から卅日まで川口市営で開催される、呼びものレースは二日目四輪車の三㍑、三日目二輪車の五㍑レースである、各級別の主力車、選手を挙げれば

▽一級車＝◎ラッキーエース（高橋）○ブライトコジマ（小島）×ジャパンキン（藤本）△ビクトリコジマ（井上）▽二級車＝○ミナトメグロ（安藤圭）◎ミツキースター（飛）×ジョホク（河村）△ゴールド（松井）▽三級車＝◎ボルケーノ（安藤圭）○第一シンエイ（林谷）×シルバーミッキー（飛）△ホマレオー（山中）▽四級車＝◎タカオカンダ（桑原孝）○オクムサシ（田中）×エキセル（武藤）△オークランド（大野）▽五級車＝◎カンダ極東（桑原孝）○オートビソト（稲垣）×キングダイナ（堀越）△第二エーブ東京（小須田）▽六級車＝◎ムサシ（堀越）○ニツポリ極東（小須田）×ミナトレイカ（安藤増）△ホソノテツカン（吉岡）▽四輪車A級＝◎ブライトマン（林）○メイジ（岩崎）×グロリー（中村）△タチオタ（島田）▽四輪車B級＝◎MKM（相田）○ニューラッキ（酒澤）×シンガー（太田）△ブライトフジ（三上）（京一男）

今晩のラジオ
27日（木）

	【NHK第1】—590KC—	【NHK第2】—690KC—	【ラジオ東京】—950KC—	【日本文化】—1130KC—	【ニッポン放送】—1310KC—
6	00 お伽のランプ『不思議な壷』田端典子 須永宏 25 物語『オテナの塔』	00 医学の時間 中村文弥 30 科学小説『アフリカ探検記』ケニヤの巻	10 劇『こんちは横丁』 25 おしゃれクイズ 55 スポーツタイム	00 劇『すずらん太郎』 15 バンド・タイム 45 スポーツ・ニュース	00 劇『ポツポちゃん』 20 時代劇『銀蛇の窟』 35 歌の百貨店灰田勝彦他
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 浪花演芸会 A助・B助 蝶々・雄二ほか	00 名曲鑑賞 歌劇『蝶々夫人』抜粋ほか 30 友への手紙『膝を交えて』福田恒存 篠田アナ	10 録音ニュース 20 木琴独奏 演奏平岡養一『旅愁』『子守唄』他 30 ミュジツクレストラン	00 録音ニュース 10 映画『警察日記』特集 30 歌の花園 『江利チエミショウ』泪のワルツ他	00 ラジオ夕刊 20 劇『今日もまた』 30 パリのお嬢さん 石井好子 河井坊茶ほか
8	00 イヴエツト・ジローのシヤンソン解説芦原英了 30 劇『由起子』津島惠子 木村功 山田清ほか	05 教養特集『デフレと農村の景気』大島清 土屋清 吉野俊彦 長谷川善彦 榛沢嘉一郎	00 くすくすくらぶ 松田トシ 柳家小さんほか 30 ヴアラエテイ『のんき裁判』徳川夢声ほか	00 浪曲学校 林家三平 早川燕平 浪花家辰丸他 30 私と貴方の三つの歌 司会浅倉アナ	00 スピード・クイズ 司会鳴海アナ 30 漫才学校 蝶々・雄二 こいし A助・B助ほか
9	05 ニュース解説館野守男 15 リズムパレイド アルゼンチン音楽特集 40 時の動き	00 劇『夢は枯野を』堀越節子 宮口精二ほか 30 放送詩集 北村透谷作楚囚之詩他 村野四郎	10 南十字星 舞踊組曲『白鳥の湖』『コツペリア』 30 劇『哀愁日記』 津村悠子 仲谷昇ほか	00 ジヤズ JATT 司会ロイ・ジエームス 30 詩劇『雨』荒木道子 北村和夫 加藤治子ほか	00 浪曲忠臣蔵『大石東下りの遊興』吉田奈良丸 30 新平家物語『あらしの前の巻』語り手徳川夢声
10	15 新内『八重霞浪花浜荻』岡本文弥 宮古太夫ほか 40 こんな話 松井翠声	00 ❶初級英語 梶木隆一 ❷上級国語 増淵恒吉 45 気象通報	05 今日のニュース（朝日） 30 落語鑑賞 正岡容 春風亭柳好	00 大学受験完成講座❶英文和訳 岩田一男❷解析1 戸田清	00 劇『裸一貫』滝沢修他 35 劇『四十八人目の男』坂東鶴之助 井川邦子他
11	10 海外の話題 20 随筆 内田清之助作	00 私はこうして挽回した 犬伏武夫 長岡逸郎ほか	10 芸術百話 監督になるまで 山本嘉次郎ほか	00 宣伝の談話室 宣伝と演出 片柳忠男ほか	15 夢のいざない 40 入社試験 扇谷正造
あすの番組	7・45 朝の訪問 草坂文雄 8・05 パリリー弦楽四重奏団のモーツアルト 8・30 大杉栄とその時代 9・45 青いノート保坂弥生 10・05 けさの話題 小秋元 11・15 私の本棚 春の滝 12・30 ❶漫才 晃一・真理子❷落語 橘家円蔵 2・05 長唄二題『花の友』他	8・00 警養文芸詩井上康文 8・30 メンデルスゾーンの荘重なる変奏曲ほか 10・00 小学校『低・中・高学年の時間』 11・45 日本の古典井原西鶴 12・15 文士と囲碁 榊山潤 1・15 交響曲の時間 2・30 話し方 石井満 3・30 お母さんの童話	8・20 ラジオ・スケツチ 9・45 汚物の流れる町 10・10 生きとし生けるもの 11・45 歌二葉あき子ほか 12・15 中村八大とモダン 12・30 講談『観小僧梅吉』 1・30 婦人の窓 人生案内 2・25 音楽のさんぽみち 3・10 歌のキャビネツト 4・25 交響曲第百番『軍隊』	8・25 コメデイ 城達也他 9・00 むかしの歌いまの歌 10・40 劇『君ひとすじに』 11・35 劇『東京の人』 12・00 講談◇中田康子の歌 1・25 落語随想 金馬 2・30 民謡名所めぐり 3・40 ハワイのたより 4・00 劇的交響曲『ロメオ』 5・00 夕べの軽音楽	8・10 劇『おとこ大学』 9・00 劇『サザエさん』 9・45 歌とお話井口小夜子 10・00 きんぴら先生青春記 11・00 劇『胡椒息子』 11・45 歌謡物語服部良一篇 12・00 浪曲花形十八番集 1・00 劇『夫婦舟』日高久 2・00 音楽ロマンス 2・30 アメリカの文学

テレビ

NHKテレビ

6・00 漫画『三匹の仔猫』
6・10 ミルエット『愛の湖』黒沢良 池田昌子ほか
6・40 初場所立見席から
7・15 映画『玩具』
7・30 浪花演芸会 Aスケ Bスケ 蝶々雄二ほか
8・00 イヴエット・ジローのシヤンソン曲集
8・30 スリー・ステップ

日本テレビ

6・00 お月さまと猫
6・15 政局座談会（各党）
6・45 柴田喜代子の独唱
7・30 劇『人生劇場』
8・00 映画『遊侠一代』

☆日本テレビ☆
12・30 青春のメロデイ 荒川文子 矢代一憲ほか
1・00 みんなで学芸会
1・20 髪と肌の手入れ
☆日本テレビ☆
12・15 コメデイ『二人でお茶を』千葉信男 桜京美
12・45 老人病をめぐつて
1・05 メーキヤップの秘訣

続 情炎の千代田城 (10)

岩崎栄
寺本忠雄画

花曇り（三）

「ちくしょう、降って来やァがったぜ」

濡れ手拭を頭にのっけた八百定が、銭湯から帰って来た。

「お帰り」

「おう千代テキ、ずいぶん油ァ売って来やがったな」

「えゝ、お仙が茶屋などでね、おふくろとサシ向いでもって、一ぺえやらかして来たよ」

「チェッ、ふざけたやつらだぜ」

奥へ入って、

「さァ、こちとらも一ぺえーおや、お辰のやつァ、いねえじゃねえか」

お静がチャブ台の上を拭きながら、

「おばさんはまだなのよ、おじさん」

「なにがまだなんでえ、まだ四十にゃァ間があるーか」

「なにいってるんです。まだ帰って来ないんですよ」



「それが、あの車坂の上んとこでもって、[illegible]」

「ふん、なんたる言語道断、太えアマだ」

お静は吹き出して、

「なにも、太くも細くもないじゃありませんか、変なおじさんねえ」

「うんにゃ、太え。脚が太えよ。あのお仙のアマがまた細くねえんだ」

「さ、ゴテゴテいってないで、燗がついたから先ィチビチビやってくださいな」

湯気の立つ銚子に添えて、八百定が好物の、おかかをふんだんにはずんだ数の子とサシミをコトンと置いて、

「すみません、独酌で願いますよ」

「なんだ、これァ、カンパチじゃねえか。いまごろのカンパチなんざ場ちがいだぜ、おい」

もう勝手の方に降りたお静が、

「黙って食べるんですよ。千五百石のお殿さまじゃないの」

「うんそうか。しからば身ども、おとなしく食うでござろうーだけど、相手が欲しいな。こらァー千代テキ、これにまいれ」

お静が、

「おフウに出かけました」

「なんだ、気の早えヤロウだな」

「はい、これで先ず、ゆっくりやってくださいな。大急ぎで一とッ風呂浴びて来てからご飯にしますからね。お酒はそこイつかっていますよ。よござんすか」

「合点だ」

お静の下駄の音が露路に消えて八百定が二本目の銚子に手を出しかけたところへ、千代太郎が湯から帰って来た。

「おゝ、一ぱいやんな」

八百定が突き出す猪口をおさえて、

「先ず お父上に お酌致しましょう」

「こんちくしょうめ。せっかくの酒がまずくなるじゃァねえか。変チキリな 言葉づかいは よしてくれ」

「ハヽヽ」

「さァ飲め」

「もうあまり欲しくねえや。お仙さんの茶店でね、おッ母さんと三人でもって、五本もあけたンだもの」

「五本？ やりゃァがったな」

なんとか、かとか親子でやっているところへ、もうお静も帰って来た。若い女にしては、おそろしく早い湯だ。

しかし、どうしたのか、お辰はなかなか帰って来ない。

ハワイブームの実態を探る

☆　☆　☆　☆　☆

へハワイ、ハワイと草木もなびく…かどうかは知らないが、このところ芸能人のハワイ渡航がまた一段と目立って来ている、何故このように猫も杓子もハワイ・ブームに浮かれ出したのか、以下その実態を少しく探ってみよう（Y）

【右の写真上は美山チーム】

☆　☆　☆　☆　☆

"さくら祭"を狙って
どこも日本の踊り子集め

▽…現在ハワイにある大きなキャバレーは大たい五つぐらいで、ジョージ松岡氏の経営するクラブハバハバ、その弟ロイ松岡氏の経営するクラブ・ギンザ、その姉松岡女史の経営するシーサイド・クラブ、ビル・パチェコ氏の経営するオアシス、中国人某氏の経営するサウス・シー・クラブなどがある

この会部がいま日本からの踊り子や歌い手を四、五名、多いところでは十数名も招いてショウを上演しているのだから、どうしても店同士の競争が激しくなって来る

しかもこの四月には全ハワイを挙げて盛大に『さくら祭り』が催され、観光客も殺到することが予想されているので、日本からどんどん芸人を招んで、より華やかなサービス戦を展開しようというのだから、いきおいハワイ・ブームも起るわけだ

▽…もう一つの原因は招きを受入れる側、つまり日本の踊り子の方にもある、現在行くことがほゞ決定しているのはクラブ・ギンザへ奈美路笑（二月九日出発予定）



千種照美　奈美路美　南真由美



衣笠 悦子

芝園星子、アックルの江藤チーム、オアシスへ美松パールズ・チーム、サウス・シーへ美山みち子とラヴリイ・フラワーズ（今月末出発予定）ハバハバへこれもアックルの汐美佐惠子（二月八日出発予定）などがあるが、なんといっても彼女らの気持ちの大部分を占めているのは『常々憧れていた外国、特にハワイというところに一度は行ってみたい』ということらしい、その他では『東京にいても最近はひと頃のように仕事が少ない』『ミッチリ働いてお金を残して来て、さゝやかな商売でもはじめたい』などというのが理由の大きなものだ、関係事務所の者の話では『ハワイ帰りというと箔がつくという考えもあるんでしょう』といっている

ギャラ月四、五万圓
食費負担でまるまる残る？



水町かほる

▽…それでは一体どの位のギャラになるのか、勿論ピンからキリまであろうが、平均した相場は一ヵ月日本円にして四万円から五万円止りということだ、支度金として一万円位いと一ヵ月分の給料を前渡ししてくれるそうだが、ある踊り子の話では『衣裳を作ったり楽譜を揃えたりしちゃったらもう足が出た』ということもある

▽…クラブ・ギンザの場合を例にとると、日本出発から帰国までの期間に対して百万円の生命保険を掛けて呉れ（六ヵ月分前納で掛金は約六万円位）税金、交通費、食費も負担、契約中は衣裳の生地やふだんの服なども買ってくれることになっている

このほかにクラブによってはファンがつけばチップがドルで稼げるし、集会の余興としてのアルバイトなどもあるという

で、そのため既に昨年渡布している南真由美、衣笠悦子、水町かほる、去る十三日出発した日舞ショウの千種照美らも現地では普通ショウとして踊っている模様だ、日本では普通ショウの倍近くもギャラを取っているストリッパーが渡布したがっているところにも、なお普通ショウと同じギャラで、行詰りつゝあるストリッパーの一面が覗えるわけ、こゝ当分はハワイ・ブームは絶えそうにない

行詰り打開の裸姫ら

▽…こゝで面白いのはハワイ渡航組にストリッパーが多いことで原則としてストリッパーもしくは元ストリッパーに対しては旅券が下付されぬ建て前となっている田

映画やぶにらみ
姿三四郎（東映作品）

☆…富田常雄の原作で黒沢明監督の出世作となった、いわば"柔道もの"映画の草分けのような作品の再映画化、こんどの演出は田中重雄で、藤田進のやった三四郎は波島進が扮している

☆…明治の開化期が舞台、凋落しつつあった日本古来からの柔術諸流と、新興勢力矢野正五郎（山村聡）の率いる修道館柔道との決戦が描かれるわけだが、その柔道界最後のチャンピオン姿三四郎が、柔道界最後のホープ桧垣源之助（植村謙二郎）と宿命の決戦を繰りひろげるのがヤマとなっている、そういった物語そのもののテンポの早い面白さが何といっても強味で、柔道シーンも道場の羽目板に叩きつけたりという結構荒っぽさが出ていて、まず娯楽味は十分、ただこれが華族の娘（高千穂ひづる）や柔術家の娘（宮城野由美子）との色模様になると、演出のキメも荒っぽく話も平板でつまらない、端役ながらスリになる花沢徳衛が印象的な芝居をみせている（静）



『姿三四郎』 波島(右)と植村

おしゃべり横丁



連呼禁止

ー一丁え、二丁え、三丁え…

ーアラ、どうして急にだまったの、魚屋さん

ーおマワリがこっちをにらみやがったんで

名選 都々逸

石井きんざ選

妬くのは野暮だし喧嘩も出來ず　今夜は少しすねて見る　高崎・五十嵐源太郎

介抱さす気で酔いますす今夜　私も覚悟は出來てます　文京・木村いつ秋

晴れて逢える日待つこの身には　地味にかざった簪餅　足立・越川梅好

逢える明日へはずんだ胸が　またも寝返りしてる夜　千葉・坂龍鯛

あがる坊やの平和の字だこ　二人が見ているけさの晋　船橋・今井ちさと

◇

怒ったり泣いてみたりが續くはきっと　誰かが見えないせいらしい　選者

▽…浅草フランス座でお客と踊り子が乱闘するという珍事件が起った、フィナーレ前の"女の決闘"という景で、高見燿子と栗田輝子の二人が客席の間まで下りて髪をつかみ合い組んずほぐれつの大乱闘をする、客の一人になりすましているコメディアンの関敬六までまき込まれるというのが話のスジ

▽…ところがこの日高見が客席に下りた途端一人の客が抱きついた、怒った高見がこれと乱闘をはじめ彼女が騒がされると、彼女のファンが飛び出して来て男を殴りつけ、もう手のつけようのない騒ぎ、とうとう幕を下し、栗田涙ながらに『今のはお芝居なのです』と謝ってやっとケリがついたが、翌日高見燿子は休演、そしてこの景はカットされてしまった



【写真は高見燿子】

その声見参!! ⑫

河井坊茶
タレント・スカウト（KR）の司会者



本名秋元喜雄氏は早大の機械科出身、もと暁星中学教師、西製作所設計技師で特許もとっている、趣味は数学である、たえず彼の頭脳の中には方程式や図形がつまっており内ポケットには計算尺もしのばせている『数学の難問を解くってのは詰碁、詰将棋に似た面白味がありますなあ、一つ日本数院てのでも設立しますかな』文化人名録に記載される光栄を有しているのは目下河井坊茶の方であって秋元氏ではない、しかしセレモニ屋なんてハカナイものである、いつの日かだれも、"坊ちゃん"をカワイがらなくなるかもしれない、そこで秋元氏の方も絶えずウォーミングアップを怠らないのである、よき哉、その心掛け!

新宿区下落合の住宅地に一居をかまえ、ところで訪問客セガレもある、ところで訪問客は秋元氏より坊茶に用があることが多い、子供にも人気のある彼であるから、玄関口から堂々と訪問する豆ファンもある『頼もう』『どーれ』『ボッチャンいますか』ーこうなるとオヤジ坊茶に会いに来たのか、それともセガレ坊ちゃんの友だちがメンコでもしに来たのかわからない、そこで『拙宅をご訪問の場合に限り、ボクにご用のお方は何とぞ"父っちゃん"と呼んでいたゞきたいもので…』子供といえば当節は随分厚かましい豆ファンもあって、手紙で冬休みの数学の宿題を解いてくれといって来たことがある

数学と来たら眼がない彼の心理をうまくつかんで『こんな難問解けますか』と来た、根がお人好しだから『何おっ、猪口才なッ』てんで十二、三題あった奴を片っぱしからやっつけて手紙で答えてやった『ボクァ、最高級の筆不精なんですが、あのときゃ見事ひっかかりました』

"坊茶のやつ、あの問題解けなかったぜ"なんて触れ回るかもしれんと思うと、数学マニアのぼくにはガマンできないんでね、エヘヘ、とうとう…」

數學の難問をとく趣味
豆ファンが『ボッチャンいますか』

こ の タレント・スカウトでも彼の人柄はセレモニぶりによく反映する、ノド自慢などと違って タレントの"掘出しアワー"であるから、出演者をサカナに してカマウことはしない、野次られて逆上すると歌詞を忘れたり、調子が狂ったりするかもしれないからだ、但しタレントを連れて来た推選者は適当に冷かして面白味を添える、例えばキャバレーの女の子で歌えるのをどこかの社長さんが連れて出た場合『ご関係は、ハア？ ちょっとした知合、エヘエ、ウソいってらあ?』てな具合である、そんな茶々も例の黄色い声と意地悪や邪気のない調子でやるから、やられた方は腹も立てず にニヤニヤ ですむ

『優秀な明日のスターを見つけ出そうってのが狙いですから楽しみはありますよ、但し相当厳しく選ぶので、予選を通過して放送に出られるのはまあ、五十人に一人か二人の割でしょうなあ』三、四月ごろからこのまゝそうだ（よ）【写真の右にあるKRテレビに横辷りする番組だのは観客の拍手の音響を測定、出演者の上手下手をきめるオーディオ・メーター】

内外映画演劇案内

★優秀映画の御鑑賞は毎日掲載の確実な本欄を御利用下さい。

東宝直営館（暖房完備）
これがシネラマだ　帝劇
エジプト人　有楽座
長い灰色の線　日比谷映画
ブリガドーン　上野宝塚
東京恋愛大通り　日劇
ホンド　50円　渋谷文化
浮雲・月は上りぬ　大森東宝
宝塚バレエ「白鳥の湖」三時・六時半二回　日劇
朝九時半より花嫁立候補・浮雲

楽天地系（63）3121
花嫁立候補・浮雲　渋谷東宝
浮雲・川の下町の話　上野東宝
潜航決戦隊・真紅の女　江東劇場
ロミオとジュリエット　宝塚地下
銀座令嬢・大学は出たけれど　キンゲキ
テキサス来た男　55円　江東文化
浅草物語・一番手柄　江東地下
魔法の宝・漫画（2）20円　めばえ座
ブリガドーン・漫画　本所映画

丸の内
オセロ・ロミオとジュリエット　スバル
☆（独立系）番組☆
名画座　第三の男　55円

外人部隊・裏街　雪ヶ谷映劇
街の野獣・北京超特急　下十条
平原の落雷・アパッチ大学　巣鴨映画
目撃者は語らず・平原の落雷　キネマ
凸凹フランケンの巻・第三暗黒街　千住
花嫁立候補・浮雲　千住東宝
白鷺・母子草・青銅の魔人③　新橋キネマ
三味線恋月は上りぬ化粧　布日活館
ダイヤルMを廻せ・潜行者Gメン対間諜　新宿
明日なき第三暗黒街　エトス地球座
玉電　花嫁ひろい・白鳥・青銅・茶屋　三軒茶屋三映
井スラバヤ殿下・初恋　中劇
大森　姿三四郎・地獄・明治一代女・大学・拳銃　金星・銀星・ヒカリ
東洋系　二人の茶・狂熱の孤独・しのび逢い・明治一代女・月は上りぬ　赤羽・中央・オデオン

ロビンフッド
絶讃上映中
前劇大冒険
空活
RKO提供
Walt Disney's Story of ROBIN HOOD

旗興行チエーン
地獄門・明治一代女・他　池袋日勝
ダニー・ケイのあの手この手　40円　日勝地下
銀座の雲　浮雲　五反田劇
令嬢対決怪傳　八幡文化
姿三四郎・地獄　八幡映画
地獄の地蔵・明治一代女　小岩映画

東亜興行系
男の城
ジャングルの決闘　新宿
不死身の巨人　佐原
男の城・ダイヤルM他　中野
悪の花園・ディズニーの漫画　北沢・吉祥寺
オデヲン座

☆（三和興行系）☆
ロミオとジュリエット　新宿東宝・神田東洋
花嫁立候補　紋三郎の秀　新宿文化・芝園館
浮雲　神州4部　神田南明
欲望という名の電車　50円　新宿セントラル
結婚明50円　本日限り　新東地下
懐しの無声映画・大相撲　銀座コニー
明治一代女・愛すれど　文京映画
姿三四郎・地獄

実演映画・春のおどり・銀座令嬢　浅草国際
銀座令嬢　浅草松竹
大学は出たけれど　新宿松竹
初場所大相撲実況　銀座松竹
地獄の花嫁　池袋山手
浪曲天狗道場　築地映画

（洋画）松竹系番組（邦画）
姿三四郎・竜の魔王　常盤座
大岡政談地獄の地蔵　東劇地下
ボナンザ・底抜け最大のショウ　東劇
ロビンフッド・島　松竹座
黒い骰子・肉体の誘惑　日本館
砂漠は生きている　ピカデリー
総天然色　赤と黒　丸の内日活

☆日活系番組☆
東京の空の下には
東京の空の下には逆襲・明治一代女　新宿日活・神田日活・上野日活・浅草日活・池袋日活
スラバヤ殿下・初恋カナリヤ娘　横浜日活・両国日活・立川日活
外人部隊　40円　日活名画座

29日まで
ロビンフッド・島　五反田セントラル

本欄一手扱い（43）二〇五〇・二五二八
株式会社 東京広告社
芝田村町三ノ十二 大マビル